

浜野正一郎 略歴

年 月	事 項
1974年3月	金沢大学卒業
1974年4月	金沢大学大学院薬学研究科入学
1975年6月	米国コネチカット大学大学院薬学研究科入学
1976年9月	米国コネチカット大学大学院薬学研究科中退
1977年3月	金沢大学大学院薬学研究科卒業
1984年9月	東京大学大学院薬学博士授与
年 月	事 項
1977年4月	大正製薬入社(創薬研究、新規事業開発、ベンチャー提携、M&A開拓・推進業務)
1998年4月	ICH(国際医薬品規制調和会議)本部専門家会議委員(～2005年3月)
2007年12月	大正製薬早期退職(役職 部長)
2008年1月	ハマノインターナショナル株式会社代表取締役就任(～現任)
2008年4月	富山県薬業連合会(生産額全国1位)アドバイザー就任(～現任)
2008年6月	文部科学省プロジェクトほくりく健康創造クラスターCD就任(～2013年3月)
2008年7月	経産省プロジェクト日本海地域大学技術移転機能 上席副社長(～2013年3月)
2009年4月	日本政策投資銀行VC「BHP」アドバイザー就任(～2020年10月)
2013年7月	日本貿易振興機構(ジェトロ)新興国進出専門家就任(～2017年3月)
2015年4月	金沢大学先端科学・イノベーション機構非常勤講師(～2016年3月)
2017年4月	日本貿易振興機構RITCD就任(～2019年3月)
2021年9月	サイトライン日本賞査員就任(～現任)
2021年6月	金沢大学薬学関東同窓会長就任(～現任)

受賞 : 米国FDA(食品医薬品局)長官特別賞受賞(2005年5月)

資格・免許 : 薬学博士(東京大学)、薬剤師、英検1級

趣味 : 旅行、社交ダンス、ボイストレーニング

(21) **つなぐ** 2019年(令和元年)6月27日 木曜日 ニュース 本局

ひとズームアップ **とやま×首都圏** TSUNAGU

ハマノインターナショナル社長
県薬業連合会国際交流アドバイザー
浜野 正一郎氏(氷見市出身)

薬都富山 海外に発信

2007年末に大正製薬(東京)を早期退職し、製薬会社の医薬品開発や国際ビジネス、ライセンス契約などを支援するコンサルタント会社を設立した。自宅兼会社オフィスがあるのは、都内を広く見渡せる高層ビル。「国内製薬企業やベンチャー企業の国際化を支援し、海外とのビジネス展開や文化交流の架け橋として役立ちたい」

大学院では、薬の体内分布や代謝などについて最先端の研究をしていた山名月中教授(故人)に師事。米国東海岸のコネチカット大学院に留学し、薬学研究の実用化とビジネス展開に関心を持ち、大正製薬に入社した。

はまの・じょういちろう 氷見市出身。氷見高校、金沢大、米コネチカット大学院留学を経て、金沢大学大学院修士課程修了。東京大より薬学博士号(1984年)。77年に大正製薬に入社し、2007年に早期退職し会社設立。大手製薬会社の本社が集まる日本橋に自宅兼会社オフィスを構える。68歳。

にこだわらずチャレンジを続けた。20代では、薬の体内での分布・薬効をコンピューターで予測するプログラムを開発。30代では東京大から薬学博士号を授与され、先進的な研究を進める米国の製薬企業や大学との共同研究を企画推進。壊滅の進行を抑えたり、骨軟化症などに伴う諸症状の改善に役立つたりする医薬品の開発に貢献した。

同社では「新技術による新規事業の創出・新製品の開発」を自らの役割と考え、既存の手法

40代では、スイス製薬大手とのビタミン剤に関する共同事業体(JV)の設立や、米国大手からの事業買収に携わった。薬学の知識や語学力、国際交渉力を買われ、2000年前後の数年間は、医薬品製造・品質管理に関する世界統一ガイドライン作成の国際会議に参画。米国政府機関のFDA(食品医薬品局)から長官特別賞を受けた。

これまでの経験や知識、人脈を広く国際ビジネスや若い人材育成に役立てようと、08年に起業。同年には県薬業連合会国際交流アドバイザーに就き、県内企業の海外展開を支援している。「海外とのビジネス・文化交流支援を通じ、薬都富山の発展と国際化に貢献できるよう頑張りたい」

経済 やわらかゼミ